



■介護福祉士養成校の学生さんへフォーカス！
【大原医療秘書福祉専門学校の学生さんのインタビュー】



質問：どんな介護職員になりたいですか？

私は、利用者の方の『心に寄り添う』そんな介護ができる介護福祉士になりたいです。



むらおか くるみ
村岡 来実さん



こたけ なおや
小竹 巨也さん

私は、将来に向けて介護技術を学ぶとともに、利用者の方とご家族の方に信頼してもらえるような介護職員になりたいです。

私は利用者の方々が笑顔でいられる介護をしたいです。そして、知識と技術を習得して、将来は介護支援専門員になりたいとおもいます。



とりば あやか
鳥羽 亜弥香さん



ファム ティトゥ チャンさん

利用者の方の気持ちだけではなく、ご家族の気持ちも理解すること。また、チームの輪をより良くすることができる介護福祉士になりたいです。

■ 広告募集のご案内 ■

埼玉県介護福祉士の機関誌「ラポール」では、皆様が活躍されている団体や法人、職場の「広告掲載」をさせて頂いております。職場の紹介や埼玉県内の介護福祉士への応援メッセージなどにご活用ください。

大きさは「名刺サイズ」になり、内容は基本的に自由ですが、「求人掲載」は出来ませんので、ご了承願います。区画：2,000円 複数区画の利用も可能です！

掲載をご検討の方は、メールにてご連絡ください。お待ちしております。



お問い合わせ
⇒ info@saitama-kaigo.org

【編集後記】先日、近所の方から枇杷（びわ）を沢山もらいました。子供たちは初めてだったので食べられるか心配でしたが「美味しかった～♪」とあっという間に家族で食べてしまいました。私も妻も小学生以来に食べたのですが、とても懐かしく美味しくいただきました。枇杷の葉も沢山もらったので、私の働いているデイサービスでも枇杷の葉湯を提供し、ご利用者様に季節を感じてもらいたいと思っています。 広報担当：H



発行者／一般社団法人 埼玉県介護福祉士会
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目
266-3 シンワKIビル
TEL 048-658-8869
FAX 048-611-7830
URL http://saitama-kaigo.org/



令和5年6月発行



大原医療秘書福祉専門学校

(左から)

ファム ティトゥ チャンさん

こたけ なおや
小竹 巨也さん

むらおか くるみ
村岡 来実さん

とりば あみか
鳥羽 亜弥香さん

【介護福祉士養成校 シリーズ第3弾】

県内の介護福祉士の養成校の学生さんにスポットをあてて皆様へご紹介させていただきます。今回はさいたま市にあります、大原医療秘書福祉専門学校へお邪魔しました。綺麗なキャンパスと充実した設備で、学生さん同士仲の良い姿が印象的でした。 撮影：渋谷 博道(介護福祉士)

埼玉県介護福祉士会 会長より



5月より新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から「5類感染症」になりました。イベントなども開催され観光地も賑わいを見せ始めました。コロナ禍においては、利用者の方の生命及び生活を守るために格闘した日々でしたが、皆様の生活や職場も少しずつコロナ前の日常にもどりつつあるのではないのでしょうか。しかし、感染症がなくなったわけではありません。感染対策を行いながら、人と人とのつながりを大切にしていきましょう。埼玉県介護福祉士会も、引き続き感染症予防を行いながら研修などの活動を続けていきます。

梅雨明け後には厳しい暑さとなりますので、健康には十分にご留意なされ、さらにご活躍されますことを祈念申し上げます。



【会長 町田 晴美】

研修委員会より



令和5年度も介護福祉士会では生涯研修を開催いたします。

『介護福祉士を取得してゴール』ではありません。実際に仕事をしてみて困ったことや悩んだこと、初めて知って戸惑うこともありますよね。介護福祉士の生涯研修は、知識の習得はもちろん、『求められる介護福祉士像』『介護過程の実践』『高い倫理性』など介護の専門性を現場で活かせる研修を行っています。

大学や専門学校で実際に講師や介護現場で活躍されている方々が事例等を用いてわかりやすく講義を行います。また、経験年数に応じたスキルアップ研修があり、埼玉県各地や近隣の都道府県からも参加者が集まりますので、介護福祉士同士のつながりや様々な業態（施設系や在宅系等）の情報交換が行えます。

（スキルアップをしたい）、（何をすればいいだろう）、（将来の不安）と感じたら、ぜひファーストステップ研修を受けてみて下さい。新しい発見や気づきと出会えるはずですよ。

☆ 研修一例 ☆

- ・介護福祉士 基本研修 実務経験2年未満の方が対象（※ファーストステップ研修参加に必要な研修）
- ・介護福祉士 ファーストステップ研修
実務経験2年以上の方が対象
中堅～チームリーダーを目指す
（※認定介護福祉研修参加に必要な研修）

その他の研修内容や経験年数等や指定された研修の終了が条件となっている研修もありますので、詳しくは、ホームページの受講要綱をご確認ください。

研修に参加された方の理由

- ・介護のプロとして現場で実践できる知識を高めたい。
- ・職場以外の介護福祉士と交流をもちたい。情報交換をしたい。
- ・後輩やチームメイトを指導する立場になったが、職場では学ぶ機会がない。
- ・一人だと気が進まないが、職場や知り合いと一緒に参加した。
- ・上司の勧めにより参加。キャリアアップや部下育成を期待され参加した。



研修など、当会の最新情報はホームページをご覧ください。



自己研鑽をしたいと思っているが、何をしたら良いかわからない。という方も安心して下さい。埼玉県介護福祉士会の仲間と一緒に学び、介護の質を高めていきましょう。

【会員の方には、会員割引や研修に使える生涯研修ポイントがあります。】

連載「介護における専門性」①

今年度は、浦和大学名誉教授でいらっしゃいます、黒澤 貞夫氏に「介護における専門性」をテーマに全3回の連載記事をお願いしております。



黒澤 貞夫氏のプロフィール

日本大学卒業、厚生省（現・厚生労働省勤務）、国立身体障害者リハビリテーションセンター指導課長・相談判定課長、国立伊東重度障害者センター所長、東京都豊島区率特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンター施設長、岡山県立大学保健福祉学部教授、浦和短期大学教授、弘前福祉短期大学学長、浦和大学学長を歴任。現在は、日本生活支援学会会長を務める（注：勤務先は当時の名称）。主な著書に『生活支援学の構想－その理論と実践の統合を目指して』（2006年：川島書店）、『ICFを取り入れた介護過程の展開』（共著：2007年：建帛社）、『人間科学的生活支援論』

介護における専門性を考えるためには、まずわが国の法制度としての「社会福祉士及び介護福祉士法」第2条において介護は専門的知識、技術をもって行うとの趣意が示されていることから出立する。国家の制定する法律は、国民の願い、意思に沿うものである。すなわち国民の求める介護は一部の人々のものではなく、すべての国民のものでなくてはならない。そこに介護の目指すものとして、国民の希求する理念といわれるものを掲げるのである。このことをさらに現実の状況から考えてみる。

- （1）いつの時代にあっても、人は老い、病をもち、心身の障害を担って生活している。そして人はいかなる状況下にあっても幸せな生活を求めている。
- （2）国家は法制度を設けるにあたって、理念として人間の尊厳の保持、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援するとしている。
- （3）介護の実践は、地域社会における生活の場面である。それは人格と人権を有する生活者どうしの支えあいの関係である。

さてこれまでの論述をふまえて介護における専門性を考えていく。まず介護は実践の経験からの英知に基づく科学である。これを人間科学として構成する。これは医学や物理学等の自然科学の有益な資産を取り入れながら、介護の固有の専門性を認識するのである。そのことは介護の従事者そしてこれから介護福祉士を目指す人々にとって介護が「魅力ある仕事」であり「一生かける価値ある仕事」であることの根拠（エビデンス）となる。

このように言うと現代社会はAI(人口頭脳)にみられるような数量的方法が世の中を席卷しつつあるように思う。一方介護の実践は、あれか、これかと思ひ悩むこともある。このように介護における専門性は様々な要素がある。これを体系的かつ総合的に構成することの難しさがあるのではないかとの問いがあり得る。

今回はこれらを順次説明して介護における専門性を実証していくことにする。

